

学びびや

タイムスリッパ

1942 (昭和17)年6月のミッドウェー海戦で日本海軍が敗北して以降、戦局が急速に悪化しました。学校では先生の応召が始まり、43年になると、運動会が「体錬大会」という呼び名になり、戦争をモデルとした内容

になるなど、戦時色がこたえに当時頻繁に使われ、戦時色に使用されたスローガンで、習字の場行進です。防空頭巾を手に持ち、いゆる「銃」の競技は、普段から

当時の校長先生が残した体錬大会のアルバムを「叩き落せチャーチル」首(チャーチルは当時のイギリス首相)など、過激な言葉も散見されます。

「月火水木金」(「土イギリス首相)など、過激な言葉も散見されます。

「月火水木金」(「土イギリス首相)など、過激な言葉も散見されます。

「月火水木金」(「土イギリス首相)など、過激な言葉も散見されます。

「月火水木金」(「土イギリス首相)など、過激な言葉も散見されます。

「月火水木金」(「土イギリス首相)など、過激な言葉も散見されます。

「月火水木金」(「土イギリス首相)など、過激な言葉も散見されます。

「月火水木金」(「土イギリス首相)など、過激な言葉も散見されます。

「月火水木金」(「土イギリス首相)など、過激な言葉も散見されます。

「月火水木金」(「土イギリス首相)など、過激な言葉も散見されます。

「月火水木金」(「土イギリス首相)など、過激な言葉も散見されます。

「月火水木金」(「土イギリス首相)など、過激な言葉も散見されます。

木刀、なぎなた構え体操

(京都市学校歴史博物館 学芸員 和崎光太郎)

がちですが、戦時中は決してそうではなく、複数

の国と戦争をしている認識でした。

写真①は、下京区の開智国民学校(現学校歴史博物館)の様子です。体錬大会では、男子は木刀、女子はなぎ

がちな、下京区の開智国民学校(現学校歴史博物館)の様子です。体錬大会では、男子は木刀、女子はなぎ

がちな、下京区の開智国民学校(現学校歴史博物館)の様子です。体錬大会では、男子は木刀、女子はなぎ

がちな、下京区の開智国民学校(現学校歴史博物館)の様子です。体錬大会では、男子は木刀、女子はなぎ

がちな、下京区の開智国民学校(現学校歴史博物館)の様子です。体錬大会では、男子は木刀、女子はなぎ

がちな、下京区の開智国民学校(現学校歴史博物館)の様子です。体錬大会では、男子は木刀、女子はなぎ

がちな、下京区の開智国民学校(現学校歴史博物館)の様子です。体錬大会では、男子は木刀、女子はなぎ

がちな、下京区の開智国民学校(現学校歴史博物館)の様子です。体錬大会では、男子は木刀、女子はなぎ

がちな、下京区の開智国民学校(現学校歴史博物館)の様子です。体錬大会では、男子は木刀、女子はなぎ

がちな、下京区の開智国民学校(現学校歴史博物館)の様子です。体錬大会では、男子は木刀、女子はなぎ

がちな、下京区の開智国民学校(現学校歴史博物館)の様子です。体錬大会では、男子は木刀、女子はなぎ

がちな、下京区の開智国民学校(現学校歴史博物館)の様子です。体錬大会では、男子は木刀、女子はなぎ

がちな、下京区の開智国民学校(現学校歴史博物館)の様子です。体錬大会では、男子は木刀、女子はなぎ

がちな、下京区の開智国民学校(現学校歴史博物館)の様子です。体錬大会では、男子は木刀、女子はなぎ

写真2、鉢巻きをして、なぎなたを構える女子児童(写真3、木刀を振る男子児童と校舎から見学する人たち(いずれも下京区・開智国民学校の体錬大会))



写真1、体錬大会の入場行進

